

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112N019		英語学 (English Linguistics 1)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 橋本美喜男 E-mail mikioha@oita-u.ac.jp 内線 7578											
授業の概要	英語の様々な言語事実を日本語と比較しながら確認し、諸現象を相互に有機的に関連づけることで、日本語を母語とする学習者に教えるのに必要とされる英語力を学生は伸ばす。さらに、第二言語習得理論を通して、「学習者の視点」から英語力を考察する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 英語の基礎知識を積み上げる。音声・音韻構造や意味構造に対する深い理解を促進する																	
目標2																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 英語の母音と子音体系について																	
2 英語の母音 短母音 長母音 二重母音																	
3 英語の子音 1																	
4 英語の子音 2																	
5 リズム構造とイントネーションについて 音の脱落と同化																	
6 形態論 派生と屈折																	
7 複合語																	
8 動詞の種類と文型																	
9 進行形について																	
10 受動態について																	
11 法助動詞について																	
12 言語コミュニケーションについて																	
13 英語の歴史について インド・ヨーロッパ語族																	
14 英語の歴史について 古期英語, 中期英語, 近代英語, 現代英語																	
15 母語習得と外国語学習について																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	毎回小テストを行う。				工夫	理解を深めるための、課題を毎回出す。										
	B:意見の表現・交換					その											
	C:応用志向					他											
	D:知識の活用・創造					の											
時間外学習の内容と時間の目安	準備	事前に関連する文献に目を通し、疑問点等を指摘できるようにする。(10h)															
	事後	疑問の思った点を中心に、調査をさせ、理解を深める活動をする。(10h)															
教科書	Moodleを通してプリント等を配布する。																
参考書	講義中に紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	毎回の授業中の課題	40%															
	最終課題	60%															
注意事項	辞書を持ってくる。																
備考																	
リンク																	
	URL																